

「自主・互譲・責任」の実践 ～文化祭を終えて～

生徒にとって最大の学校行事である文化祭が終わりました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来場いただき、大変盛り上がった文化祭となりました。改めてお礼申し上げます。

P T A 役員の皆様には、模擬店を出していただきました。また、今回の文化祭では、昨年度（平成29年度）のP T A 役員の皆さんにも参加していただき、大いに盛り上げていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

たくさんの方に学校に来ていただき、ステージ発表や展示を見てもらう、模擬店に並んで自分たちの作ったものを買ってもらう経験をとおして、生徒たちはやりがいや達成感、満足感を実感することができました。ほんとうに楽しそうな表情で、生き生きと活動していました。

文化祭を振り返って、校長として特に印象的だったことを4点まとめてみました。

【合唱コンクール】 どの学年も素晴らしい歌を披露しました。みんなで協力して歌おう、歌うことをみんなで楽しもう、歌を聴いてもらおうという気持ちがよくわかり、見ていて、聴いていて、とても気持ちがよかったです。今までで最高の合唱コンクールだったと思います。

【想定外への対応】 2年生のステージ発表では、コンピュータがうまく動作せず予定どおりに始めることができないというアクシデントがありました。しかし、2年生の生徒や進行する生徒会も慌てずに対応し、観客席の1年生、3年生の生徒もその対応を静かに見守りながら待っていました。発表の順番を急きょ入れ替えましたが、混乱なく終えることができました。何かをやるときに、想定していた手はずどおりには進まないこともあります。そんな時にどう行動できるか、どうリカバーするかが大切です。

【創意工夫】 各学年とも、展示、ステージ発表、模擬店にそれぞれ創意工夫を凝らし、みんなで力を合わせて準備をすることで、充実した当日を迎えることができました。また、意見発表では、今年度からプレゼンテーション形式を取り入れることで、自分の意見をほかの人に聞いてもらおうという姿勢がより積極的になりました。思考してそれを積極的に表現するという点で、新たな可能性を感じました。

【オープン・ハイスクールの同時開催】 当日は、第2回オープン・ハイスクールを同時開催しました。中学生や保護者の方に西高生の学校生活を直接見てもらうとても良い機会となりました。案内から説明、座談会の進行と、さすが高校生という場面をたくさん目にすることができました。中学生の保護者の方から「さわやかで気持ちのいい生徒」だとほめていただきました。

文化祭は、本校の校訓「自主・互譲・責任」を具現化する良い機会となりました。事前の準備や当日の発表をとおして、生徒たちは、自主的にみんなで協力しながら、楽しい雰囲気の中に達成感と充実感を味わい、一回り大きくたくましく成長したと感じました。

（校長 高橋信之）